

昭和24年

奈良縣統計書

---

奈良縣

昭和25年3月刊行

## 奈良縣統計書発刊に寄せて

地方行政機関が健全な自治体として、新発足してより日尙浅く、且つ前途には豫算税金産業供出等々の諸問題が未解のまま残されて居る現状に在る。それ故各地方自治体が自己の行政範囲内に於ける政治・経済・文化等各般に亘る統計を綜合整備する事により、変遷極まりない各種情勢に應じなければならぬと言う事實は、自治制施行以前に増して痛感せられるに至つた事は亦た当然の事であらう。

戦前における本縣統計行政の年中行事の一つとして、年々の統計書の編纂が数え上げられて居り、その歴史は遠く明治初年迄遡る事が出来る。然るに日華事變の發生続いて起つた太平洋戦争は、統計の暗黒時代を招來した、そして日本を無條件降伏たらしめた一九四五年八月十五日迄の少くも十ヶ年間は続いた。

終戦後連合軍は社会経済的に混乱の極致に在つた日本を管理する目的を以て、統計調査を矢つぎ早にわれわれに課したが、一方民主的な日本人も亦た、この統計を利用して祖国の復興に寄與せんと努力して來た。

本縣においても、敗戦後、逸早く統計による再建を目ざして、戦時中中断せられて居た、統計書の復活をこころみた。而し一九四一年以降空白であつた統計を補うには、我々は余りにも微弱であり、その上終戦時の混乱の中に失われた資料は余りにも多く我々の力を以てしては如何ともし難いものであつた。

だが二十二年にはようやく努力の結晶により、小型ではあつたが、この年の統計を集めた、「奈良縣概要」の発刊が漸く実現し、我々の喜びは例えようもなかつた。而しこの僅か一六〇頁の概要が我々は勿論縣民の何人たりとも、急激に変化する社会経済の要求に應じ得られるものであるとは考えては居なかつた。此処に於いて吾々は二十三年度の頭初に當り、充実し且つ整理せられた統計書の編纂を計画する事になつた。

昭和二十三年十一月上旬縣調査課内に統計書編纂の爲めの委員会が設けられ、翌年四月上旬発刊を目標として立案計画が進められた。

だが時の経過と共に全国的対比や新しい調査の結果の掲載等新たに加わつた要望に應ずる爲めには、四月上旬完成と言う計画は不可能となり五月下旬と豫定を変更せざるを得なくなつた。

而るに五月末に致り、統計課長會議に於いて提示せられた統計委員会の「地方統計年鑑編纂に関する覚書」は我々の計画を交々三轉せしめる結果となつた。

我々としては、委員会の覚書を尊重し之に順應して、統計書の再編成を行つたとしても、統計資料に不足する自治体の現状からして、果して、この覚書の要求する事実をどの程度迄漏し得るかと言う事全く疑問であつた。而しその結果が仮令不成功に終る事が明白な事實であつたにしてもこの新しい処女地を開いて行く希望と情熱をいだくに至つた。時間的ツレや内容の不整備をかえりみずあえてこの覚書に従つた次第である。

吾々編集者としても既述した如く、本統計書については自らもその足ざるを反省し、來る可年に整え自己反省すると共に、本書を利用せられる縣民各位よりの御批判と御支援を心から待望する者である。

最後に本書編纂に際し、御協力下されし各機関に対し心より感謝の意を表すものである。

昭和二十五年三月

奈良縣調査課長 藤 原 久 雄

## 凡 例

- 1 本書は昭和二十三年年度統計書として統計委員会の「地方年鑑編纂に関する覚書」に依り編集した。
- 2 本書は原則として昭和二十三年年度の事実を掲載したが、之れにより難い場合は昭和二十二年の事実より集録した。
- 3 本書は主要なものについては、過去の事実と比較検討するに便なるよう累年比較をし、又全国との比率を見んが爲全国の数字をも集録した。
- 4 本書の掲載数値は單位未滿の端數はすべて四捨五入し掲載すべき數値のないものは(一)を、數値はあつても單位未滿のものは(○)を事實不詳のものは(….)をもつて表わした。

昭和二十四年五月

奈良縣總務部調査課

# 目次

## 1 土 地

1、本県の位置	1
2、本県の地勢	1
3、河 川	1
4、道 路	2
5、橋 梁	2
6、行政区劃	2
7、本県の沿革及市町村の廢置分合	3
8、市町村区劃及面積	4

## 2 氣 象

1、概 括 表	10
2、月別平均気温	12
3、年次別平均気温	12
4、月別最高気温	12
5、年次別最高気温	13
6、月別最低気温	13
7、年次別最低気温	13
8、年次別降水量	14
9、月別降水量	14
10、月別最多降水量	15
11、霜雪の期節	15

## 3 人 □

1、全國人口總數	16
2、本県人口總數	16
3、全 國 人 口	17
4、郡市町村別世帯並人口	20
5、産業別従業上の地位別	32
6、外國人郡別	32
7、人 口 動 態	33

## 4 事 業 所

1、産業中分類別事業所数、従業者内訳別、男女別従業者数、現金給與額及実物給與額	69
2、産業大分類別規模別操業事業所数	74
3、産業大分類別規模別操業事業所の従業者数	75
4、大分類数別事業所数及男女別従業者数	76
5、産業大分類別本所事業所数及び拂込資本金又は出資金額	77
6、産業大分類別現業非現業本所支所事業の活動状態事業の組織別事業所数	79
7、産業大分類別全従業者数、給與額及び法人の拂込資金又は出資金	79

## 5 勞 働

1、産業別給與額	80
2、労働組合	84
3、労働爭議	86

## 6 農 業

1、事業兼業別農家数	89
2、自小作別農家数	89
3、耕地面積	90

4、米	90
5、麦	95
6、食用農作物	99
7、蔬菜	102
8、果樹	107
9、工藝農作物	108
10、觀賞植物	110
11、縁肥用作物	111
12、飼料用作物	112
13、藥用植物	113
14、桑栽培現在面積	114
15、採種圃面積	115
16、採種圃數量	116
17、販賣用桑苗生産	118
18、牧蕪高	119
19、販賣用眞綿生産	120
20、牛飼養者数及飼養頭数	120
21、馬飼養者数及飼養頭数	122
22、豚飼養農業者数及飼養頭数	123
23、山羊飼養農業者数及飼養頭数	124
24、緬羊飼養農業者数及飼養頭数	124
25、鶏飼養農業者数及飼養羽数	125
26、家兎飼養者数及飼養頭数	125
27、兎毛皮、兎肉、兎毛及羊毛生産數量	126
28、販賣用藥工品生産	127
29、製茶	129
30、製茶場数	130

## 7 林 業

1、森林業自營世帯数	131
2、私有森林管理者数	131
3、製炭業經營者数	132
4、林野面積	133
5、保安林	141
6、造林用苗木	142
7、公私有造林野面積	145
8、公私有林伐採面積	153
9、公私有林伐採面積	157
10、公私有林野副産物	160
11、牧野面積	162

## 8 水 産 業

1、水産業經營者数及水産業被僱労働世帯数	166
2、水田養魚	168
3、池中養殖蓄養	168

## 9 工 業

1、工業別規模別工場数	170
2、工業別規模別工場数	170
3、工業別規模別従業者数	171
4、工業規模別従業者数	172
5、工業別規模別生産額	174
6、工業別規模別生産額	174

## 10 鑛 業

1、鉱業事業所数及従業者数	175
2、金属、鉱業	175
3、亜炭鉱業	175
4、月別亜炭採掘量	176

## 11 金融商業物價

1、金融	177
2、商業	179
3、物價價格	184

## 12 交通通信

1、交通	190
2、郵便	191
3、電話	194
4、電報	194

## 13 電氣瓦斯水道

1、電氣	195
2、瓦斯	196
3、水道	198

## 14 家屋建築

1、住宅数	199
2、建築許可戸数	199
3、建築設功戸数	200

## 15 財 政

1、國稅	201
2、県稅	205
3、県歳出	206
4、県歳入	210
5、県債	212
6、県有財産	212
7、市町村歳出歳入	213
8、市町村債	214

## 16 官 公 吏 選 舉

1、県廳職員	215
2、選挙	216

## 17 司 法 警 察

1、登記	227
2、民事事件	227
3、刑事事件	228

4、行刑	229
5、警察	230

## 18 教育宗教文化

1、小学校	235
2、新制中学校	236
3、中等学校	236
4、青年学校	237
5、幼稚園	237
6、盲啞学校	238
7、職業学校	238
8、其の他の公立各種学校	238
9、大学高等専門学校	238
10、学校基本調査結果表	240
11、学校衛生統計結果表	251
12、宗教	258
13、図書館	258
14、新聞刊行種類別発行数	259
15、ラジオ聴取者数	259

## 19 厚 生

1、民生委員	260
2、会社事業施設	260
3、要援護者	260
4、復員業務	261
5、復員、未復員者数	261
6、方面別、復員、未復員者数	262
7、兒童福祉施設	262
8、教養護各施設收容兒年令別	262
9、医療関係者数	263
10、公立一般病院	264
11 私立一般病院	264
12、私立診科別病院数	264
13、公立療養所	264
14、法定傳染病患者及死亡者数	265
15、届出傳染病年報	272
16、性病患者郡市別	273
17、屠殺頭数	273

## 20 災 害 事 故

1、火災	274
2、風水害	275
3、震災害	276
4、交通事故	277